

ふくしま県立病院事業改革プランについて

- ◇ 県立病院が、地域住民の健康をしっかりと守ることのできる医療を確保していくため、『地域に必要な医療の安定的な供給』『効率的な病院経営』を基本目標として、令和3年度から令和5年度までの3年間における病院経営の指針として策定したもの。
 - ◇ 「Ⅰ 各県立病院が果たすべき基本的役割」、「Ⅱ 医療の質の向上の取組」「Ⅲ 県立病院事業の経営効率化に向けた収支計画」を取組内容とし、その取組状況を毎年進行管理していく。
- ＜改革プランの経過＞
- ① 県立病院改革プラン：平成21年度～平成25年度
 - ② 第2次県立病院改革プラン：平成26年度～平成28年度
 - ③ 新たな県立病院改革プラン：平成29年度～令和2年度
 - ④ ふくしま県立病院事業改革プラン：令和3年度～令和5年度

＜経営評価委員会の主な役割＞
県立病院改革プランの取組状況を点検・評価し、病院局及び各県立病院に対して意見・助言を行うこと。

ふくしま県立病院事業改革プラン進行管理

Ⅰ 県立病院の取組状況 P. 2

■ 各県立病院の基本的役割を果たすために必要となる主要な取組の実績



Ⅱ 医療の質の向上の取組状況 P. 3～7

■ 各県立病院における医療の質の向上に向けて実施する病院機能評価等の結果

病院機能評価	各県立病院の組織全体の運営管理と提供する医療について「患者中心の医療」「良質な医療」「チーム医療」「組織運営」の各領域の項目（一般病院：90項目、精神病院：93項目）を外部審査等により評価 → 外部審査：5年に1回受審 中間検査：外部審査認定後3年目に受審 自主点検：上記審査等以外の年に実施
数値目標評価	病院機能評価の項目の中から各県立病院で設定した数値目標の評価 → 目標評価：目標値達成状況の自己評価（定量評価）

Ⅲ 経営の効率化に向けた取組状況 P. 8

- 患者状況
- 決算状況
- 収支計画の目標「政策医療経費の繰入」「経常収支比率・医業収支比率」の状況

I 県立病院の取組状況

【基本的役割】

中山間地域における医療提供体制の確保

南会津病院(98床)

院長 松井 遵一郎



◆地域医療の安定的な提供

- 南会津地域唯一の救急告示病院として、『断らない救急』を目指し、24時間365日体制で救急医療を実施

	R2	R3	R4
救急車受入(回)	559	691	770
時間外患者(人)	1,786	2,141	1,556

◆公的診療所等への診療応援

- 只見町朝日診療所等への応援を実施

	R2	R3	R4
国保診療所(回)	45	49	22
特養老人ホーム(回)	66	70	63

※H30より、地域医療支援C(南会津広域町村組合)が行っていた訪問診療について継承

◆人材育成

- 臨床研修医や地域医療に関心を持つ医学生や看護学生等を受け入れ、地域医療への理解促進や将来的な医療人材を確保

	R2	R3	R4
初期臨床研修医(人)	21	14	17
地域医療実習(人)	0	1	0

◆在宅医療の提供

- 在宅医療を必要とする方へ訪問看護等を実施

	R2	R3	R4
訪問看護利用者(人)	2,315	2,389	2,530

◆健康づくりへの支援

- 健康診断や町村と連携した出前講座等を通して予防医療や健康づくりの啓発を実施
- 保育所等の職員及び保護者を対象に、家庭や施設で抱える子育ての不安や疑問に答える相談会を継続して実施

	R2	R3	R4
医療講演会(回)	2	※0	※0
医療相談会(回・人)	※0・0	※0・0	※0・0

※新型コロナウイルスの影響により中止

宮下病院(32床)

院長 横山 秀二



◆地域医療の安定的な確保

- 救急協力病院として、必要な医療機能や病床を確保するとともに、地域の医療機関等と連携して救急医療・時間外医療等を実施
- 診療科の維持及び充実の確保

	R2	R3	R4
救急車受入(件)	57	73	103
時間外患者(人)	226	274	287

◆公的診療所等への診療応援

- 金山町国保診療所等への応援を実施

	R2	R3	R4
国保診療所(回)	102	163	164
特養老人ホーム(回)	64	63	64

◆人材育成

- 臨床研修医や地域医療に関心を持つ医学生や看護学生等を受け入れ、地域医療への理解促進や将来的な医療人材確保に協力

	R2	R3	R4
初期臨床研修医(人)	8	8	8
地域医療実習(人)	9	1	2

◆訪問診療・訪問看護等の充実

- 住民が安心して在宅療養ができる訪問診療・訪問看護を実施し、平成30年11月から更に、介護保険に係る訪問看護を開始
- 出前講座等による住民の健康増進の支援
- 令和2年7月、会津医療センターから派遣された医師・看護師等の訪問医療チーム(奥会津在宅医療センター)による訪問診療、訪問看護を開始

	R2	R3	R4
訪問診療(件)	183	907	1,405
内 奥会津C(件)	177	907	1,405
訪問看護(件)	186	1,506	2,093
内 奥会津C(件)	97	1,506	2,093
出前講座(回・人)	5・86	9・149	11・127
院内健康教室(回・人)	※0・0	※0・0	※0・0

※院内健康教室は新型コロナウイルスの影響により中止

先進的な精神科医療の提供

ふくしま医療センター

こころの杜(148床)

院長 橘高 一



◆明るく開放的で快適な病院への建替

- 先進的な精神科医療を担う「ふくしま医療センターこころの杜」として全面建替工事を実施中【診療開始R4.10、工事完了予定R6.3】

◆措置入院等

- 自分や他人を傷つける危険が高いと診断された者や処遇困難患者の入院を受け入れ、地域で生活できるよう関係機関と連携した退院後の支援を実施

	R2	R3	R4
措置入院(人)	4	3	10

◆児童思春期医療の充実強化

- 相談直後から医療スタッフ等による支援を開始する「ふくしまモデル」により、取組を充実強化

	R2	R3	R4
児童思春期外来(人)	4,773	5,494	6,553

◆訪問看護・デイケアの充実

- アウトリーチ(多職種による訪問支援)の実施
- 医療相談室や訪問看護ステーションを中心に患者の地域移行・地域定着支援を実施
- 未治療者やひきこもりの障がい者へのアウトリーチによる早期発見・治療の促進

	R2	R3	R4
訪問看護(人/日)	14.4	14.7	14.6
デイケア(人/日)	10.2	11.0	10.4
アウトリーチ(件)	37	67	39

◆救急・急性期医療の充実

- 精神科救急医療システム指定医療機関として救急輪番に対応する一方、精神科の夜間・休日の常時救急体制を整備し、質の高い医療チームで急性期患者に対応

	R2	R3	R4
休日・時間外診療患者数(人)	14	5	15
休日・時間外入院患者数(人)	5	14	21

震災復興を支える医療提供体制の確保

ふたば医療センター

附属病院【ふたば】(30床)

センター長(兼)
院長 谷川 攻一



◆地域医療の確保

- 双葉地域唯一の二次救急医療機関として、平成30年4月23日診療開始
- 同地域の救急医療の更なる強化に向け、同年10月29日多目的医療用ヘリの運航を開始令和4年度ヘリ運航件数52件(R3:59件)

※救急搬送の状況(双葉消防本部管内)

	搬送人数(a)	うち管内搬送(b)	うちふたば搬送	管内搬送率(b/a)
R4	1,185	741	695	62.5
R3	988	600	552	60.7
R2	985	596	551	60.5

◆提供する医療機能

- 診療科：救急科・内科
- 救急医療(24時間365日対応)
- 訪問看護(平成30年7月開始)

	R2	R3	R4
入院(人)	2,183	2,558	2,710
外来(人)	4,698	4,556	5,172
うち訪問看護(人)	379	322	254

ふたば復興診療所【リカーレ】

所長 宮川 明美



◆地域医療の確保

- 県立福島医大のバックアップにより、大学病院と同等の高度な診療を提供する「かかりつけ医」として附属病院と役割分担し、外来診療を実施

◆患者数の動向

- 新型コロナウイルスによる受診控え等で患者数減少傾向
- 地域別では、楢葉町と広野町で全体の8割弱
- 年齢別では、全体の8割弱が60歳以上

	R2	R3	R4
内科(人)	4,395	3,919	3,877
整形外科(人)	2,916	2,115	1,097

Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

南会津病院

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検結果：令和4年7月 改善結果：令和5年1月
評価結果概要 (令和4年7月)	【S評価：1項目 A評価：80項目、B評価：7項目、C評価：0項目】 ■ 各部署において、病院機能評価項目に基づいて自主点検を行った。 ■ 改善結果について、院内の「病院機能評価プロジェクト会議」において確認した。
改善結果 (令和5年1月)	【S評価：2項目 A評価：80項目、B評価：6項目、C評価：0項目】 ■ A評価からS評価へ改善した項目：1項目 →「必要な情報を地域等へわかりやすく発信している」 ■ B評価からA評価へ改善した項目：1項目 →「情報管理に関する方針を明確にし、有効に活用している」

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和4年度				令和3年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	入院患者満足度	75.0%	94.2%	5	あなたの声、接遇改善の取り組み	75.0%	97.4%	5
	外来患者満足度	80.0%	95.7%	5	あなたの声、接遇改善の取り組み	80.0%	98.6%	5
	交流イベント等開催数	0回	0回	－	新型コロナウイルスのため	0回	0回	1
良質な医療の実践	紹介率	20.0%	19.2%	4	地域内診療所等との相互紹介の定着	20.0%	19.4%	4
	逆紹介率	20.0%	13.0%	2	地域内診療所等との相互紹介の定着	20.0%	16.8%	3
	病床利用率	55.6%	34.1%	2	新型コロナ陽性患者受け入れによる病床確保	55.6%	40.3%	3
	地域医療機関サポート率	15.0%	9.6%	2	地域内診療所等との相互紹介の定着	15.0%	9.6%	2
	地域救急貢献率 (診療圏内貢献率)	5.2% (45.5%)	5.4% (45.8%)	5 5	会津若松方面も含めた救急受け入れ	5.2% 45.5%	5.6% 47.0%	5 5
	在宅復帰率	90.2%	90.0%	4	地域内の施設等との相互紹介の定着	90.2%	96.5%	5
	措置入院件数	－	－	－		－	－	－
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	8人	9人	5	医師確保に向けた関係機関への働きかけ	8人	9人	5
	資格取得者支援者数	3人	2人	2	特定行為資格取得のための支援	3人	1人	1
	医療安全研修参加率	100.0%	100.0%	4	書面開催による	100.0%	96.0%	4
	後発医薬品使用率(数量)	75%	78.4%	5	薬事委員会での切り替えへの取り組み	75.0%	80.5%	5
	経常収支比率	100.1%	99.6%	4	医業収益は減少したものの目標は達成	99.9%	99.7%	4
	医業収支比率	53.0%	54.5%	5	人件費等費用減により改善した	52.2%	59.3%	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○自己評価基準

目標値達成状況の自己評価（定量評価）		R4	R3
【5】	目標値を上回った。達成度100%以上	7	8
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上	4	3
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上	0	2
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上	4	1
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満	0	2

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

南会津病院経営分析

県立南会津病院					
事業開始年月		S24.7			
年度		R 4 実績	R 3 実績	R 4 -R 3	
1	施設等の概要				
	病床数	【床】	98	98	0
	100床当たり医師数	【人】	9.2	9.2	0
	医師数	【人】	9	9	0
	100床当たり看護職員数	【人】	109.1	111.2	-2.1
	看護職員数	【人】	107	109	-2
2	病院概要				
	診療圏の人口	【人】	23,160	23,658	-498
	診療科	内科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/耳鼻いんごう科/眼科/婦人科/皮膚科/神経精神科/神経内科/泌尿器科/漢方内科	内科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/耳鼻いんごう科/眼科/婦人科/皮膚科/神経精神科/神経内科/泌尿器科/漢方内科		
3	損益の状況				
	病院事業収益	【千円】	2,366,140	2,292,893	73,247
	医業収益	【千円】	1,218,778	1,331,879	-113,101
	（うち一般会計繰入金）	【千円】		(113,206)	(-113,206)
	入院収益	【千円】	472,492	567,138	-94,646
	外来収益	【千円】	626,397	599,244	27,153
	その他医業収益	【千円】	119,889	165,497	-45,608
	医業外収益	【千円】	1,069,385	952,864	116,521
	（うち一般会計繰入金）	【千円】	(243,499)	(532,891)	(-289,392)
	特別利益	【千円】	77,977	8,150	69,827
	病院事業費用	【千円】	2,368,470	2,295,503	72,967
	医業費用	【千円】	2,244,846	2,246,147	-1,301
	給与費	【千円】	1,217,505	1,236,483	-18,978
	材料費	【千円】	267,967	267,702	265
	経費	【千円】	525,626	521,578	4,048
	減価償却費	【千円】	194,189	176,858	17,331
	資産減耗費	【千円】	3,796	5,881	-2,085
	研究研修費	【千円】	35,763	37,645	-1,882
	医業外費用	【千円】	32,155	44,450	-12,295
	（うち企業債利息）	【千円】	(32,155)	(44,450)	(-12,295)
	特別損失	【千円】	91,469	4,906	86,563
	医業収支〔収益-費用〕	【千円】	-1,026,068	-914,268	-111,800
	純損益	【千円】	-2,330	-2,610	280
	収支差補填額	【千円】	22,047	284,699	-262,652
	（全額一般会計繰入金）				
4	経営分析				
	病床利用率	【%】	34.1	40.3	-6.2
	平均在院日数	【日】	16	14.2	1.8
	入院患者数	【人】	12,197	14,431	-2,234
	1日平均入院患者	【人】	33.0	39.5	-6.5
	入院診療単価	【円】	38,518	39,779	-1,261
	外来患者数	【人】	59,840	58,365	1,475
	1日平均外来患者	【人】	245	241.2	3.8
	外来診療単価	【円】	10,520	10,360	160
	外来/入院比率	【%】	490.6	404.4	-4.3

収益増減理由
○入院収益の減（△94,646千円） 入院患者数の減 ○外来収益の増（+27,153千円） 外来患者数の増 ○その他医業収益の減（△45,608千円） 退職手当に係る繰入の減 ○特別利益の増（+69,827千円） 過年度原価償却の修正

費用増減理由
○給与費減の減（△18,978千円） 定年退職者の減 ○材料費の増（265千円） コロナ関連薬品費の有料化による増 ○経費の増（+4,048千円） 物価高騰による光熱水費の増 ○特別損失の増（+86,563千円） 過年度原価償却の修正

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

宮下病院

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検結果：令和4年8月 改善結果：令和5年3月
評価結果概要 (令和4年8月)	【S評価：0項目 A評価：78項目、B評価：8項目、C評価：0項目】 ■ 各部署において、病院機能評価項目に基づいて自主点検を行った。 ■ 自己点検でB評価と評価された項目を中心に、設備の改善、患者・職員への教育と院内の掲示などを実施した。
改善結果 (令和5年3月)	【S評価：0項目 A評価：82項目、B評価：4項目、C評価：0項目】 ■ B評価からA評価へ改善した項目：4項目 →「倫理・安全面などに配慮しながら、新たな診療・治療方法や技術を導入している」 「地域の保健・医療・介護・福祉施設等から患者を円滑に受け入れている」 「安全確保のための身体抑制を適切に行っている」 「診療情報管理機能を適切に発揮している」

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和4年度				令和3年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	入院患者満足度	92.5%	69.1%	3	入院患者の食事の要望対応 1人部屋の提供	92.0%	85.6%	4
	外来患者満足度	80.5%	60.1%	3	待合室や廊下への各種情報の掲示 三島町ケーブルテレビの放映	80.0%	66.5%	3
	交流イベント等開催数	7回	11回	5	出前講座の実施 (新型コロナウイルス感染拡大時以外)	7回	9回	5
良質な医療の実践	紹介率	21.5%	27.4%	5	医師の診療応援などを通じた綿密な連携	21.0%	28.1%	5
	逆紹介率	33.0%	45.9%	5	医師の診療応援などを通じた綿密な連携	32.5%	53.8%	5
	病床利用率	32.4%	17.7%	2		33.0%	17.9%	2
	地域医療機関サポ－ト率	8.5%	15.0%	5	医師の診療応援などを通じた綿密な連携	8.5%	7.2%	3
	地域救急貢献率 (診療圏内貢献率)	0.6%	1.0%	5	緊急搬送時の消防署との連携・情報共有	0.6%	0.9%	5
		14.4%	17.2%	5		14.4%	13.4%	4
	在宅復帰率	88.5%	55.9%	2	多職種による退院調整会議による、より良い退院先の検討	88.0%	61.4%	3
	措置入院件数	－	－	－		－	－	－
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	4人	4人	5		3人	4人	5
	資格取得者支援者数	4人	12人	5	看護師延べ12名が資格取得	4人	8人	5
	医療安全研修参加率	100.0%	100.0%	5	全職員（委託職員含む）対象として年2回実施	100.0%	100.0%	5
	後発医薬品使用率(数量)	95.0%	97.1%	5	薬事委員会等での切替え検討・使用促進	95.0%	96.9%	5
	経常収支比率	47.4%	99.8%	5		47.4%	99.8%	4
	医業収支比率	32.6%	31.1%	4	PCR検査装置の購入による検査委託件数の低減、職員が除雪を実施し、経費削減	31.7%	31.4%	3

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

目標値達成状況の自己評価（定量評価）		R4	R3
【5】	目標値を上回った。達成度100%以上	11	8
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上	1	3
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上	2	4
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上	2	1
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満	0	0

○病院機能評価の評価基準	
S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

宮下病院経営分析

県立宮下病院					
事業開始年月		S26.11			
年度		R 4 実績	R 3 実績	R 4 -R 3	
1	施設等の概要				
	病床数	【床】	32	32	0
	100床当たり医師数	【人】	17.0	17.0	0
	医師数	【人】	4	4	0
	100床当たり看護職員数	【人】	93.8	86.0	7.8
	看護職員数	【人】	32	29	3
2	病院概要				
	診療圏の人口	【人】	7,047	7,298	-251
	診療科	内科/外科/整形外科 /皮膚科/耳鼻いんこ う科/精神科	内科/外科/整形外科 /皮膚科/耳鼻いんこ う科/精神科		
3	損益の状況				
	病院事業収益	【千円】	744,784	720,809	23,975
	医業収益	【千円】	231,777	226,493	5,284
	（うち一般会計繰入金）				(0)
	入院収益	【千円】	59,455	60,729	-1,274
	外来収益	【千円】	119,414	120,452	-1,038
	その他医業収益	【千円】	52,908	45,312	7,596
	医業外収益	【千円】	512,351	494,076	18,275
	（うち一般会計繰入金）		(475,016)	(445,438)	(29,578)
	特別利益	【千円】	656	240	416
	病院事業費用	【千円】	746,272	722,796	23,476
	医業費用	【千円】	744,292	720,934	23,358
	給与費	【千円】	466,001	442,533	23,468
	材料費	【千円】	32,341	35,914	-3,573
	経費	【千円】	188,171	179,174	8,997
	減価償却費	【千円】	40,482	46,277	-5,795
	資産減耗費	【千円】	323	1,853	-1,530
	研究研修費	【千円】	15,707	15,183	524
	医業外費用	【千円】	1,195	1,381	-186
	（うち企業債利息）		(1,195)	(1,381)	(-186)
	特別損失	【千円】	786	481	305
	医業収支〔収益-費用〕	【千円】	-512,515	-494,441	-18,074
	純損益	【千円】	-1,488	-1,987	499
	収支差補填額 （全額一般会計繰入金）	【千円】	418,350	390,932	27,418
4	経営分析				
	病床利用率	【%】	17.7	17.9	-0.2
	平均在院日数	【日】	15	12.5	2.5
	入院患者数	【人】	2,073	2,094	-21
	1日平均入院患者	【人】	5.6	5.7	-0.1
	入院診療単価	【円】	28,768	29,089	-321
	外来患者数	【人】	17,412	18,036	-624
	1日平均外来患者	【人】	71.3	74.6	-3.3
	外来診療単価	【円】	6,913	5,512	1,401
	外来/入院比率	【%】	839.9	861.3	-21.4

収益増減理由
○入院収益の減（△1,274千円） 患者数の減
○外来収益の減（△1,038千円） 患者数の減
○その他医業収益の増（＋7,596千円） 退職手当に係る繰入の増
○医業外収益の増（18,275千円） 収支差補填に係る一般会計繰入金の増

費用増減理由
○給与費の増（＋23,468千円） 退職手当の増
○材料費の減（△3,573千円） 後発薬品への切り替えによる薬品費の減
○経費の増（＋8,997千円） 物価高騰による光熱水費の増 屋外給水管設備の修繕による増

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

ふくしま医療センターこころの杜

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自己点検
実施時期	点検結果：（未実施） 改善結果：令和5年3月
評価結果概要 （令和5年3月）	【S評価：0項目、A評価：82項目、B評価：6項目、C評価：0項目】 ■ 新病院の開院のため、令和4年度の自己点検は実施できなかったが、令和4年3月の期中確認項目のうち、B評価であった項目について、改善に取り組んだ。
取組内容	【前回点検時（令和4年3月）評価 S評価：0項目、A評価：82項目、B評価：6項目、C評価：0項目】 ■ ホームページ等に「患者様の権利に関する宣言」等として掲載、院内にも掲示 ■ 臨床指標データの収集分析を行い、病院概要にとりまとめ、ホームページに掲載 ■ 児童思春期医療チームで虐待や自殺企図等の事例について症例検討会を実施 ■ 令和5年1月から週2回の頻度で実施しているmECTの妥当性・倫理性の確保に向け、クロザリル・mECT委員会を設置 ■ オートクレーブを更新し滅菌の精度を高めるとともに医療機器の一次洗浄は超音波洗浄機を導入した滅菌室で一括で実施

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和4年度				令和3年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	入院患者満足度	60.0%	43.4%	3	患者様の声チームの開催（目安箱回収）	50.0%	58.3%	5
	外来患者満足度	80.0%	76.8%	4	患者様の声チームの開催（目安箱回収）	75.0%	73.1%	4
	交流イベント等開催数	0回	0回	－	新型コロナウイルス感染症のため、開催中止	0回	0回	－
良質な医療の実践	紹介率	60.0%	35.5%	2	総合相談・地域連携室で専任3名体制	57.0%	35.3%	2
	逆紹介率	30.0%	52.3%	5	総合相談・地域連携室で専任3名体制	27.0%	52.6%	5
	病床利用率	83.8%	51.9%	2	新病院への移転に伴う退院促進	70.5%	60.1%	3
	地域医療機関サポート率	－	－	－		－	－	－
	地域救急貢献率 （診療圏内貢献率）	－	－	－		－	－	－
	在宅復帰率	93.0%	73.7%	3	総合相談・地域連携室PSWによる退院支援	93%	85.8%	4
	措置入院件数	5件	10件	5	関係機関との連絡調整	5件	3件	2
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	12人	10人	3	病院ホームページでの医師募集	10人	8人	3
	資格取得者支援者数	1人	0人	1		1人	0人	1
	医療安全研修参加率	100.0%	95.0%	4	eラーニングによる実施（ミニテスト回収）	100.0%	96.1%	4
	後発医薬品使用率(数量)	80.0%	62.6%	3	全国的な後発薬供給の減少	80.0%	63.0%	3
	経常収支比率	100.0%	100.0%	5		100.0%	99.7%	4
	医業収支比率	53.5%	38.3%	3	新病院への移転に伴う経費増	48.1%	45.4%	4

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○自己評価基準

目標値達成状況の自己評価（定量評価）		R4	R3
【5】	目標値を上回った。達成度100%以上	3	2
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上	2	5
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上	5	3
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上	2	2
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満	1	1

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

ふくしま医療センターこころの杜経営分析

県立ふくしま医療センターこころの杜			
事業開始年月	S30.11		
年度	R4実績	R3実績	R4-R3
1 施設等の概要			
病床数	148	196	-48
100床当たり医師数	6.1	4.6	1.5
医師数	9	9	0
100床当たり看護職員数	68.2	45.9	22.3
看護職員数	101	90	11
2 病院概要			
診療圏の人口	260,789	263,620	-2,831
診療科	精神科/内科/歯科	精神科/内科/歯科	
3 損益の状況			
病院事業収益	2,317,510	1,833,222	484,288
医業収益	883,526	829,203	54,323
（うち一般会計繰入金）			(0)
入院収益	533,084	545,860	-12,776
外来収益	225,421	201,122	24,299
その他医業収益	125,021	82,221	42,800
医業外収益	1,432,537	1,002,657	429,880
（うち一般会計繰入金）	(1,287,266)	(852,178)	(435,088)
特別利益	1,447	1,362	85
病院事業費用	2,317,986	1,835,751	482,235
医業費用	2,309,229	1,827,622	481,607
給与費	1,467,929	1,274,719	193,210
材料費	90,400	91,342	-942
経費	588,141	305,187	282,954
減価償却費	102,259	105,763	-3,504
資産減耗費	9,077	231	8,846
研究研修費	51,423	50,380	1,043
医業外費用	7,734	7,942	-208
（うち企業債利息）	(7,734)	(7,942)	(-208)
特別損失	1,022	187	835
医業収支〔収益-費用〕	-1,425,703	-998,419	-427,284
純損益	-476	-2,529	2,053
収支差補填額 （全額一般会計繰入金）	1,107,691	704,934	402,757
4 経営分析			
病床利用率	51.9	60.1	-8.2
平均在院日数	135	253.3	-118.3
入院患者数	27,682	32,043	-4,361
1日平均入院患者	75.8	87.8	-12
入院診療単価	19,259	17,036	2,223
外来患者数	23,722	21,776	1,946
1日平均外来患者	99.3	90	9.3
外来診療単価	9,548	9,293	255
外来/入院比率	85.7	68.0	17.7

収益増減理由
○入院収益の減（△12,776千円） 入院患者数の減 ○外来収益の増（＋24,299千円） 外来患者数の増 ○その他医業収益の増（＋42,800千円） 退職手当に係る繰入の増

費用増減理由
○給与費の増（＋193,210千円） 正規職員数の増 ○経費の増（＋282,954千円） 電子カルテや検査設備の移転による増 物価高騰による光熱水費の増 ○資産減耗費の増（＋8,846千円） 移転に際し、老朽化備品の更新及び不要備品を廃棄したことによる増

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

ふたば医療センター附属病院

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	公益財団法人 日本医療機能評価機構による訪問審査
実施時期	訪問調査：令和4年9月29日、30日
評価結果概要 (令和4年9月)	【S評価：1項目、A評価：76項目、B評価：8項目、C評価：0項目】 ■ 公益財団法人 日本医療機能評価機構による訪問審査を受審。 ■ 訪問審査の結果、認定となった。 ■ 課題としては、診療情報管理士の配置や専門職種に応じた初期研修の実施である。 ■ B評価項目について、引き続き改善に取り組んでいく。
前回からの 改善結果 (令和4年3月)	【前回点検時（R4.3）の自己評価 S評価：0項目、A評価：78項目、B評価：7項目、C評価：0項目】 ■ A評価からS評価へ改善：1項目 → 「病院管理者・幹部は病院運営にリーダーシップを発揮している」 ■ B評価からA評価へ改善：6項目 → 「患者・家族の意見を聞き、質改善に活用している」、「入院の決定を適切に行っている」他4項目 ■ A評価からB評価への悪化：7項目 → 「倫理面・安全面などに配慮しながら新たな診療・治療方法や技術を導入している」他6項目

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和4年度				令和3年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の 医療の推進	入院患者満足度	100.0%	81.3%	3	全室個室	100.0%	50.0%	2
	外来患者満足度	100.0%	60.0%	2	意見箱設置	100.0%	66.7%	2
	交流イベント等開催数	2回	2回	5	ふたばワールド及び富岡えびす講市に出展	2回	0回	1
良質な医療の 実践	紹介率	60.0%	48.1%	3	他医療機関との連携強化	60.0%	43.5%	3
	逆紹介率	57.0%	61.0%	5	他医療機関との連携強化	60.0%	58.6%	4
	病床利用率	22.0%	24.7%	5	24時間365日対応で救急患者受入	21.0%	23.4%	5
	地域医療機関サポート率	16.0%	11.6%	3	他医療機関との連携強化	16.0%	17.8%	5
	地域救急貢献率 (診療圏内貢献率)	11.7% 56.0%	14.1% 61.0%	5 5	消防機関等との連携強化	11.7% 56.0%	12.8% 59.8%	5 5
	在宅復帰率	50.0%	77.8%	5	他職種によるより良い退院先の検討	45.0%	79.2%	5
	措置入院件数	－	－	－		－	－	－
理念達成に向けた 組織運営	常勤医師数	2人	3人	5		2人	2人	5
	資格取得者支援者数	2人	2人	5	日本DMAT資格取得	2人	1人	2
	医療安全研修参加率	100.0%	86.0%	3	全職員対象として年2回実施	100.0%	100.0%	5
	後発医薬品使用率(数量)	92.0%	95.3%	5	先発医薬品から後発医薬品への切り替え	92.0%	89.6%	4
	経常収支比率	100.0%	100.2%	5		100.2%	100.1%	4
	医業収支比率	11.5%	16.2%	5	24時間365日対応で救急患者受入	10.7%	13.7%	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○自己評価基準

目標値達成状況の自己評価（定量評価）		R4	R3
【5】	目標値を上回った。達成度100%以上	11	8
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上	0	3
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上	4	1
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上	1	3
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満	0	1

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

県ふたば医療センター附属病院経営分析

県ふたば医療センター附属病院				
事業開始年月		H30.4		
年度		R 4 実績	R 3 実績	R 4 -R 3
1	施設等の概要			
	病床数	【床】30	30	0
	100床当たり医師数	【人】24.0	17.0	7
	医師数	【人】3	2	1
	100床当たり看護職員数	【人】103.0	100.0	3
	看護職員数	【人】33	30	3
2	病院概要			
	診療圏の人口	【人】57,361	58,702	-1,341
	診療科	内科、救急科	内科、救急科	
3	損益の状況			
	病院事業収益	【千円】1,249,175	1,180,619	68,556
	医業収益	【千円】201,842	160,810	41,032
	(うち一般会計繰入金)			(0)
	入院収益	【千円】112,278	79,875	32,403
	外来収益	【千円】79,748	69,565	10,183
	その他医業収益	【千円】9,816	11,370	-1,554
	医業外収益	【千円】1,044,182	1,017,210	26,972
	(うち一般会計繰入金)	(59,426)	(66,263)	(-6,837)
	特別利益	【千円】3,151	2,599	552
	病院事業費用	【千円】1,247,473	1,179,474	67,999
	医業費用	【千円】1,243,418	1,170,349	73,069
	給与費	【千円】471,658	428,869	42,789
	材料費	【千円】62,759	57,449	5,310
	経費	【千円】507,074	494,621	12,453
	減価償却費	【千円】184,194	180,275	3,919
	資産減耗費	【千円】929	408	521
	研究研修費	【千円】16,804	8,727	8,077
	医業外費用	【千円】173	8	165
	(うち企業債利息)	(7)	(8)	(-1)
	特別損失	【千円】3,882	9,117	-5,235
	医業収支 [収益-費用]	【千円】-1,041,576	-1,009,539	-32,037
	純損益	【千円】1,702	1,145	557
	収支差補填額	【千円】656,390	596,169	60,221
	(全額地域医療復興事業補助金)			
4	経営分析			
	病床利用率	【%】24.7	23.4	1.3
	平均在院日数	【日】8.6	8.0	0.6
	入院患者数	【人】2,710	2,558	152
	1日平均入院患者	【人】7.4	7.0	0.4
	入院診療単価	【円】41,440	31,610	9,830
	外来患者数	【人】5,172	4,556	616
	1日平均外来患者	【人】14.2	11.9	2.3
	外来診療単価	【円】15,470	15,345	125
	外来/入院比率	【%】190.8	178.1	12.7

収益増減理由
○入院収益（+32,403千円） 入院患者増や施設基準の変更による増
○外来収益（+10,183千円） 外来患者数や発熱外来などのPCR検査の増
○医業外収益（+26,972千円） 補助金による増

費用増減理由
○給与費の増（+42,789千円） 正規職員の増
○材料費の増（+5,310千円） 新型コロナ薬品有償による薬品費の増
○経費の増（+12,453千円） 物価高騰による光熱水費の増
○研究研修費の増（+8,077千円） 診療応援による増

地域医療復興事業補助金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅱ 医療の質の向上の取組状況

ふたば復興診療所

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検結果：（未実施） 改善結果：令和5年3月
評価結果概要 （令和5年3月）	【S評価：1項目 A評価：33項目 B評価：31項目 C評価：0項目】 ■ 無床診療所のため、病院機能評価項目のうち対象となる項目を抽出し、自主点検を実施。 ■ C評価はなかったものの、「良質な医療の実践」や「理念達成に向けた組織運営」において、A評価の割合が少なかった。
前回からの 改善結果 （令和4年3月）	【前回点検時の自己評価 S評価：2項目 A評価：23項目 B評価：34項目 C評価：0項目】 ■ S評価からA評価へ悪化した項目：1項目 →「高齢者・障害者に配慮した施設・設備となっている」 ■ A評価からB評価へ悪化した項目：4項目 →「患者の権利を明確にし、権利の擁護に努めている」、「転倒・転落防止対策を実践している」、「患者等の急変時に適切に対応している」、「受動喫煙を防止している」 ■ B評価からA評価へ改善した項目：11項目 →「患者の個人情報・プライバシーを適切に保護している」、「医療関連感染制御に向けた情報収集と検討を行っている」他9項目 ■ 新たに評価を行った項目：6項目 →（A評価）「患者・面会者の利便性・快適性に配慮している」、「多職種が協働して患者の診療・ケアを行っている」 ■ B評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和4年度				令和3年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の 医療の推進	入院患者満足度	－	－	－		－	－	－
	外来患者満足度	92.0%	75.0%	3	飲料水の提供、雑誌・新聞の配置 生活習慣病の方への情報誌配付	91.0%	90.8%	4
	交流イベント等開催数	－	－	－		－	－	－
良質な医療の 実践	紹介率	15.0%	17.5%	5	地域の医療機関との連携	13.0%	19.3%	5
	逆紹介率	11.0%	31.2%	5	地域の医療機関との連携	10.0%	22.5%	5
	病床利用率	－	－	－		－	－	－
	地域医療機関サポート率	11.0%	6.0%	2	地域の医療機関との連携	10.0%	6.1%	2
	地域救急貢献率 （診療圏内貢献率）	－	－	－		－	－	－
	在宅復帰率	－	－	－		－	－	－
	措置入院件数	－	－	－		－	－	－
理念達成に向けた 組織運営	常勤医師数	－	－	－		－	－	－
	資格取得者支援者数	－	－	－		－	－	－
	医療安全研修参加率	100.0%	100.0%	5	院内研修の参加徹底	100.0%	100.0%	5
	後発医薬品使用率(数量)	92.0%	56.7%	2		91.0%	60.5%	2
	経常収支比率	100.1%	100.1%	5		100.1%	100.0%	5
	医療収支比率	39.2%	24.0%	2		38.9%	23.9%	2

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○自己評価基準

目標値達成状況の自己評価（定量評価）		R4	R3
【5】	目標値を上回った。達成度100％以上	4	4
【4】	目標値を達成できた。達成度90％以上	0	1
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70％以上	1	0
【2】	目標値を下回った。達成度50％以上	3	3
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50％未満	0	0

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

ふたば復興診療所経営分析

県ふたば医療センター附属ふたば復興診療所			
事業開始年月		H28.2	
年度	R4実績	R3実績	R4-R3
1 施設等の概要			
病床数	【床】	－	－
100床当たり医師数	【人】	－	－
医師数（非常勤）	【人】	(0)	(0)
100床当たり看護職員数	【人】	－	－
看護職員数	【人】	6	0
2 病院概要			
診療圏の人口	【人】	57,412	58,685
			-1,273
診療科	内科/整形外科	内科/整形外科	
3 損益の状況			
病院事業収益	【千円】	188,155	197,864
			-9,709
医療収益	【千円】	44,895	46,428
			-1,533
（うち一般会計繰入金）			(0)
入院収益	【千円】	－	－
外来収益	【千円】	44,427	45,567
			-1,140
その他医療収益	【千円】	468	861
			-393
医療外収益	【千円】	143,216	149,342
			-6,126
（うち一般会計繰入金）			(-668)
特別利益	【千円】	44	2,094
			-2,050
病院事業費用	【千円】	187,848	197,686
			-9,838
医療費用	【千円】	187,690	195,486
			-7,796
給与費	【千円】	72,853	82,212
			-9,359
材料費	【千円】	10,973	7,913
			3,060
経費	【千円】	82,966	80,205
			2,761
減価償却費	【千円】	19,011	23,592
			-4,581
資産減耗費	【千円】	319	1,358
			-1,039
研究研修費	【千円】	1,568	206
			1,362
医療外費用	【千円】	12	16
			-4
（うち企業債利息）			(-4)
特別損失	【千円】	146	2,184
			-2,038
医療収支〔収益-費用〕	【千円】	-142,795	-149,058
			6,263
純損益	【千円】	307	178
			129
収支差補填額	【千円】	119,882	120,051
			-169
（全額地域医療復興事業補助金）			
4 経営分析			
病床利用率	【％】	－	－
			－
平均在院日数	【日】	－	－
			－
入院患者数	【人】	－	－
			－
1日平均入院患者	【人】	－	－
			－
入院診療単価	【円】	－	－
			－
外来患者数	【人】	4,974	6,034
			-1,060
1日平均外来患者	【人】	20.6	24.9
			-4.3
外来診療単価	【円】	8,969	7,594
			1,375
外来/入院比率	【％】	－	－
			－

収益増減理由
○外来収益の減（△1,140千円） 整形外科の診療日数の減 ○医療外収益の減（△6,126千円） 機械備品の一部減価償却終了による 長期前受金戻入の減

費用増減理由
○給与費の減（△9,359千円） 正規職員の減 ○材料費の増（＋3,060千円） 発熱外来開設に伴う感染対策による増 ○経費の増（＋2,761千円） 物価高騰に伴う光熱水費の増 ○減価償却費の減（△4,581千円） 機械備品の一部減価償却終了に伴う減

地域医療復興事業補助金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

Ⅲ 経営の効率化に向けた取組状況

1 患者数の状況

(単位: 人、%)

区分 病院名	延入院患者数				延外来患者数			
	R4年度	R3年度	増減	増減率	R4年度	R3年度	増減	増減率
こころの杜	27,682	32,043	△ 4,361	△ 13.6	23,722	21,776	1,946	8.9
宮下	2,073	2,094	△ 21	△ 1.0	17,412	18,036	△ 624	△ 3.5
南会津	12,197	14,431	△ 2,234	△ 15.5	59,840	58,365	1,475	2.5
ふたば	2,710	2,558	152	5.9	5,172	4,556	616	13.5
リカーレ	—	—	—	—	4,974	6,034	△ 1,060	△ 17.6
合計	44,662	51,126	△ 6,464	△ 12.6	111,120	108,767	2,353	2.2

*延入院患者数増減の主な要因・・・(ふたば)新規患者の増等、(こころ)地域生活移行による長期入院の減等

(宮下)診療圏における人口減の影響等、(南会津)コロナ患者の減及び手術件数の減による患者減等

*延外来患者数増減の主な要因・・・(こころ)児童思春期患者増等、(南会津)予防接種及び発熱外来患者の増等、(ふたば)新規患者の増等
(宮下)診療圏における人口減の影響等、(リカーレ)整形外科における診療日数の減等

2 県立病院事業の決算額

(単位: 百万円)

年度	R2	R3	R4
病院事業収益	6,784	7,012	7,792
病院事業費用	6,805	7,049	7,704
当年度純損益	▲ 21	▲ 37	88

*R4年度純損益の主な要因・・・東京電力からの賠償金(+99百万円)など

損益の状況（消費税抜）

(単位: 百万円、%)

区分	R4年度 (A)	R3年度 (B)	増減 (A－B)	増減率
病院事業収益	7,792	7,012	780	11.1
医業収益	2,625	2,651	▲ 26	▲ 1.0
うち入院収益	1,177	1,254	▲ 77	▲ 6.1
うち外来収益	1,096	1,036	60	5.8
うちその他医業収益	352	361	▲ 9	▲ 2.5
医業外収益	5,082	4,346	736	16.9
一般会計負担金等	2,433	2,315	118	5.1
特別利益	85	15	70	466.7
病院事業費用	7,704	7,049	655	9.3
医業費用	7,429	6,808	621	9.1
医業外費用	174	192	▲ 18	▲ 9.4
特別損失	101	49	52	106.1
当年度純損益	88	▲ 37	125	337.8

3 収支計画の目標 1：政策医療経費

一般会計繰入金のうち

「政策医療に係る経費」を、改革プラン計画期間(R3～R5)中の目標値以下とする。

＜政策医療に係る経費＞					
(単位: 百万円)					
年度	R2(参考)	R3	R4	R5	R3～R5計
目標額	1,383	1,765	1,615	1,524	4,904
決算額	1,343	1,381	1,548		2,929

【病院別の政策医療に係る経費(決算額)】					
こころの杜	661	705	1,108		1,813
宮下病院	407	391	418		809
南会津病院	275	285	22		307
ふたば	545	597	656		1,253
リカーレ	120	120	118		358

一般会計繰入金

参考: 地域医療復興事業補助金

※目標額は、安定した政策医療運営のため設定した「ふくしま県立病院事業改革プラン」の目標値

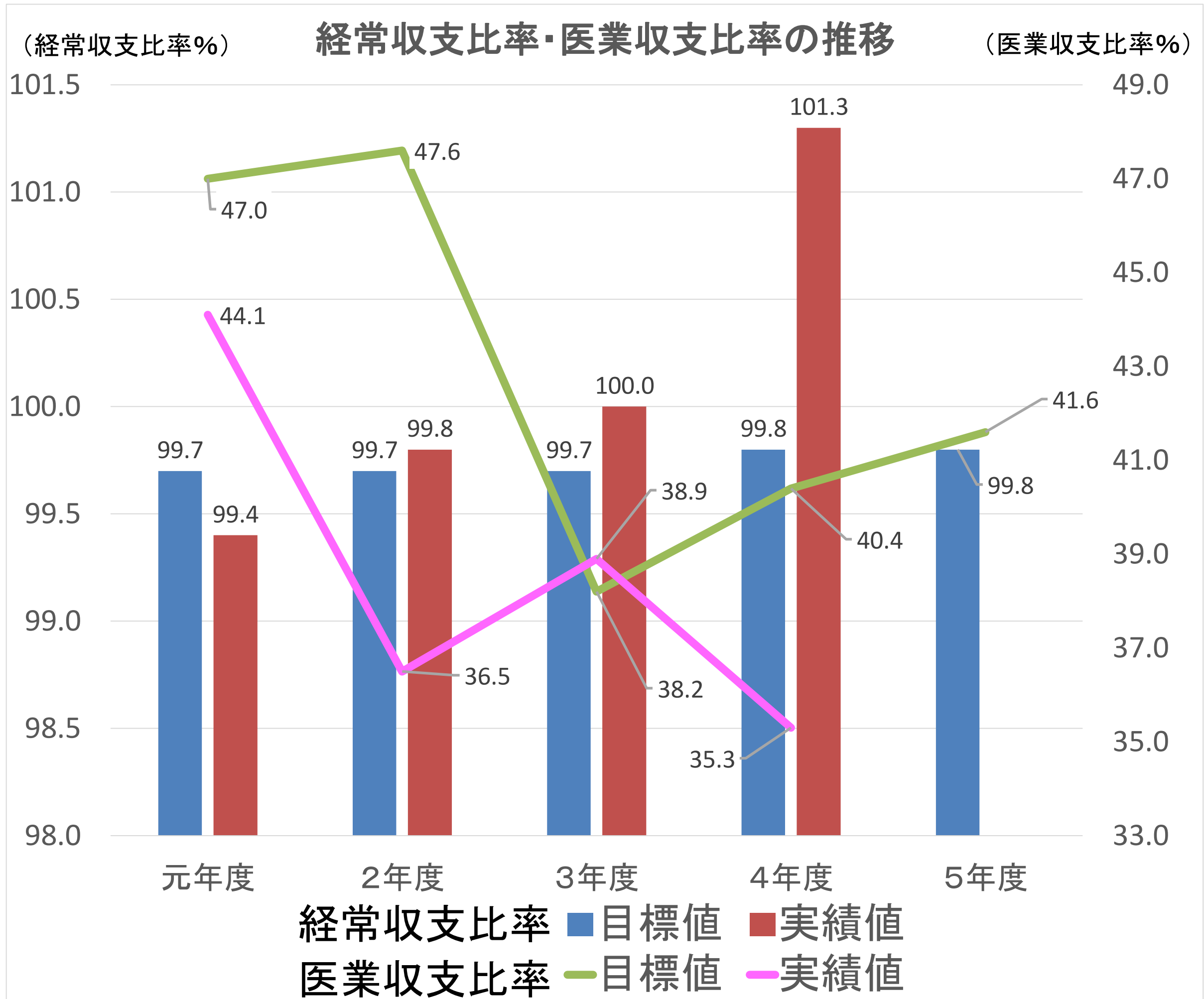
病院別では、こころの杜は目標額を555百万円(目標額553百万円)、宮下病院は目標額を17百万円(目標額401百万円)各々上回り目標値以下にすることができなかったが、南会津病院は目標額を638百万円下回り(目標額660百万円)、目標値以下にすることができた。

全体では、目標額を67百万円下回っており、目標値以下となっている。

なお、ふたば医療センター附属病院、ふたば復興診療所(リカーレ)では、政策医療に係る経費として、地域医療復興事業補助金を受け入れているため、引き続き財源確保が必要となる。

4 収支計画の目標 2：経常収支比率・医業収支比率

収益確保・費用削減に努めるとともに、様々な手段を講じ、削減に取り組む。



経常収支比率については、東電からの賠償金及び新型コロナウイルス感染症に係る病症確保料などの各種補助金の収入があったことから前年度から1.3ポイント上昇した。

医業収支比率については、矢吹病院から新病院への移転に係る各種経費の増加や光熱水費の上昇により医業費用が増加した一方で、入院患者数の減少により医業収益が減少したため、前年度から3.6ポイント下降している。

経常収支比率は改革プラン目標値を上回ったものの、医業収支比率は改革プラン目標値を下回っていることから、引き続き、医療の質向上に取り組む、収支改善を図る。